



# 佐々木小

第 5 号  
令和 6 年 9 月 1 5 日  
佐々木小学校  
新発田市則清 8 5 6  
TEL 0254 - 27 - 2011

## 目標に向かって、自分のペースで、一步一步着実に

校長 齋藤 博敏

9月2日（月）始業式の朝、いつものように児童玄関で子どもたちを迎えました。子どもたちの表情は、私が想像していた以上に明るく、「おはようございます」の声も大きかったです。また、全ての登校班が到着したのは、7時55分。いつもと比べ、とても早かったです。子どもたちの2学期への意気込みをひしひしと感ずることができました。きっと充実した夏休みを過ごすことができたのではないのでしょうか。これも保護者、地域の皆様のお陰です。感謝申し上げます。

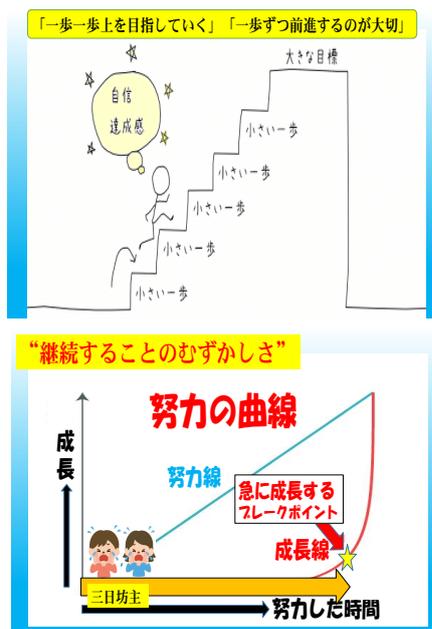
さて、日本人選手の活躍で大いに盛り上がったパリオリンピック・パラリンピックが閉幕しました。目標を達成し涙を流す選手、残念ながら目標を達成できずに涙を流す選手。その涙とともに発せられた言葉一つ一つに口では言い表せない重みを感じました。そして、何より勝敗や記録と関係なしに見えてくる人としての行動に心打たれました。最下位であっても、最後までレースを投げずに走りとおした選手。自分は負けたが他国のライバルの手をとって讃える選手…等々。国境を越え、肌の色が違っても、人間の素晴らしさに、心が打たれました。

反面、そんな素晴らしいパフォーマンスを繰り広げてくれた選手へのSNS上での誹謗中傷の数々（学校だより7月号の巻頭言でも触れましたが）。本当に心が痛みました。

2学期には、自然教室（5年生）、親善陸上大会（6年生）、持久走記録会、たてわり班遠足、学習発表会・絵画展、音楽交歓会（3・4年生）、なかよしフェスティバル等、校内外で大きな行事がたくさん予定されています。学習も、その学年なりに内容が深まりを見せていきます。それぞれの行事や学習や運動等で、私たちは、子どもを他者と比べて評価しがちです。他者と比べて早いとか遅いとか、上手とか下手とか。それだけだと、せっかく頑張ったのに、子どもはガッカリします。

大事なことは、一人一人が自分なりに、最後までやり遂げるようにすること。そして、周囲の人々は、結果だけでなく、その過程を評価することだと考えます。

学習でも運動でも生活面でも、そのほかのことでも何でも、自分が決めた目標に向かって、簡単にあきらめず、自分のペースで、一步一步着実に続け、力をのばしてくれること、成長することを2学期も期待しています。



【2学期始業式の講話より】